



平成 28 年度増設予定の尾崎川排水ポンプ

佐中 十九昭 議員
防災と災害対策



Q 尾崎川の一次・二次・三次の浸水対策を

A 平成28年度を目途にポンプ増強

【質問（議員）】 最近の異常な自然現象で、町で一番の被害は、尾崎川水系の浸水で被害を想定すると海田中学校付近まで浸水すると予想される。その対策は。

【答弁（町長）】 尾崎川の特長として浸水防止対策は、ポンプの増設が最も効果的と考える。県は、平成28年度を目途に工事着手に努める予定。今後とも引き続き、早期の事業完了を要望する。

Q 「住民投票」をしないので

A 駅前に変わりはない

【質問（議員）】 約800万円もかける住民投票をやめ、庁舎移転先を「県海田庁舎跡地」にしてはどうか。

【答弁（町長）】 海田市駅南口が最も適しているとの考えに変わりはない。

その他の質問 ● JR 高架事業について

西田 祐三 議員
尾崎川



Q 排水の強化を

A ポンプ場の新設を図る

【質問（議員）】 豪雨による浸水対策として、東広島バイパス沿いの多量の雨水が流れ込む尾崎川の排水能力の強化を。

【答弁（町長）】 尾崎川排水ポンプ場の新設に向け、陸上自衛隊海田駐屯地の敷地の一部を候補地として、自衛隊と広島県で協議が進められている。

Q JR海田市駅南口の

A 交通アクセスの強化を図る

【質問（議員）】 駅南口の西街区の道路整備および大型車の進入改善を。

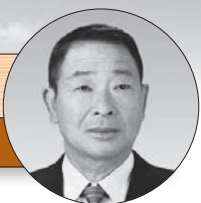
【答弁（町長）】 道路用地を確保し、県道広島海田線（明神橋交差点）から海田市駅南口へのアクセス強化を来年度から図る。



浸水改善が進みます

14人の議員が31項目の質問を行い、町長の考えをいただきました。

崎本 広美 議員
串掛林道



Q 整備計画は

A 計画的に実施

【質問（議員）】 串掛林道の今後の整備計画は。

【答弁（町長）】 来年度から年2回の除草や計画的な樹木の伐採を実施する。

【質問（議員）】 町道6号線の拡幅を

【答弁（町長）】 今年度、用地測量を行い、

引き続き来年度に予算を計上し、狭い所の解消を図る。

Q 新保育所を勤労青少年ホーム跡地に整備を

A 候補地としない

【答弁（町長）】 勤労青少年ホーム跡地付近には、私立保育所が2園あり、その運営に悪影響を及ぼす。



キレイになります



カラー舗装がしてあります

住吉 秀公 議員
通学路の交通安全



Q 横断歩道のカラー舗装を

A 必要な箇所に設置を検討

【質問（議員）】 子どもの交通事故の約4割が、道路横断中に発生している。町内通学路上で、信号機の無い横断歩道は104箇所もある。車両に対する注意喚起として、カラー舗装などを早急に行うてはどうか。

【答弁（町長）】 学校や関係機関と協議のうえ、必要な箇所について、設置を検討する。

【質問（議員）】 児童・生徒・未就学児及びその保護者に、横断歩道付近での立ち話を止めるよう、徹底してはどうか。

【答弁（町長）】 海田警察署と連携を図りながら、海田町交通安全協会を通じ、乳幼児・学童に加え、保護者も含めた事故防止や交通法規の周知、マナーの向上に努める。

その他の質問 ● 時間雨量 100 mmに耐える街づくり ● 大雨に対する警戒および初動体制の改善



早くなんとかして～

大江 康子 議員

登下校の安全対策



質問（議員） 昨年12月の定例会で、エブリイ周辺道路の整備や交通問題について質問してから1年、片側2車線の右折道路の改良はあったが、子どもたちが利用している登下校の横断歩道は、交通量の増加に伴い危険な状態となっている。安全性の観点からこの状態をどう考えているのか。

答弁（町長） 以前と比較し横断に注意を要する状況にあると考える。

A 県に対し、早期の改善を引き続き要望

Q 危険な状態の横断歩道の改善を

質問（議員） 現状打開の改善策は。

答弁（町長） 県道路部分のため、県が見直した交差点改良計画について、県と警察と協議中である。

質問（議員） 町としてできる対策があるのではない。

答弁（建設課長） 学校、地元と協議しながら町としてできる部分に対応していきたい。

下岡 憲国 議員

3 保育所統合場所



質問（議員） 先に幸保育所の結論ありきで、保護者などの意見も聞かず決めている。町営プール跡地はより広い面積を利用できるなどメリットが多い。見解を問う。

答弁（町長） 可能性がある候補地について検討した結果、幸保育所に決定した。町営プール跡地は防災用広場としても使用することから候補地から外した。

Q 町営プール跡地を候補地に

A すでに中学校グラウンドとして活用中

Q 串掛林道沿いの宅地開発で地元理解のために十分な説明を

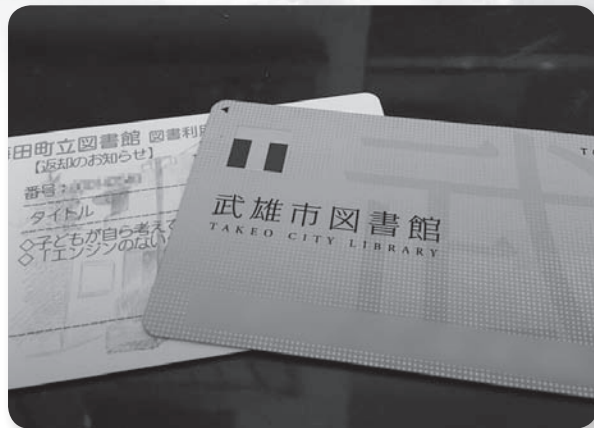
A 町はするつもりはない

質問（議員） 造成場所は県が土石流危険渓流として公表している場所である。許可した理由など十分な説明をすべきではないか。

答弁（町長） 事業内容は事業者が、許可に関する法令上の判断は県が説明すべきと考えている。



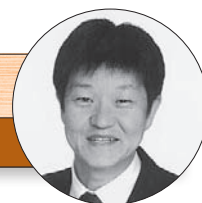
町の中心部の新保育所適地＜町営プール跡地＞



武雄市と海田町の図書カード

兼山 益大 議員

図書の充実



質問（議員） 各小・中学校図書室にインターネット環境の整備を。

答弁（学校教育課長） ネット環境とパソコンは配置していない。今後は配置の可否を含め、図書室の充実に向けた取り組みを推進する。

質問（議員） 武雄市を研究しては。

答弁（教育長） 平成27年度以降になるが、町立図書館の指定管理者制度導入についても研究していく。

A 平成27年度以降、指定管理者制度も研究

Q これからの図書館のあり方として

Q 犬を放し飼いにできる場所を

A 第2期分の整備を進める中で

質問（議員） 町内の公園はペット入园禁止である。ペットユーザー約1000世帯の憩いの場として、総合公園内やキャンプ場の敷地の一部を安価なフェンスで囲い、ドッグランできる場所を用意しては。

答弁（町長） 総合公園第2期整備の中で、設置の可否を研究する。

桑原 公治 議員

保育所再整備



質問（議員） 保育所民営化のメリット・デメリットは何か。また、民営化によるサービス低下の可能性はないか。

答弁（町長） メリットとして、国や県から補助金などが交付されることや、民間独自のサービスの提供・充実に期待できることが挙げられる。デメリットはなく、サービスの低下は起らない。

Q 民営化のメリットは

A 民間独自のサービスが期待できる

Q 学力・体力向上について

A 教職員の力量向上が課題

質問（議員） 子どもたちの体力・学力向上についての現状と課題は。

答弁（教育長） 学力向上推進委員会、中学校授業スキルアップ事業などの取り組みによって成果が出ている。今後は教職員個々の力量を高める取り組みを推進していく。



民営化でどうなる



健康寿命のアップを！

西山 勝子 議員
超高齢社会に備え



質問（議員） 介護保険法の改正により、特別養護老人ホームの新たな入所は、要介護3以上の方が対象となる。対象から外れる人が行き場を失いかねないが、その対応はどうするのか。

答弁（副町長） 現在広域で対応を検討している。

Q 特別養護老人ホームの入所制限について
A 広域で検討

Q 保育所民営化に応募がない場合どうするのか

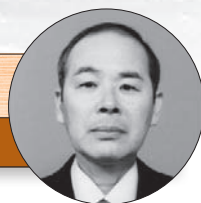
A その時は町として決断する

質問（議員） 保育所再整備について、町が土地を用意し、事業者が建物を整備する形態で民営化する方針が示された。民間事業者が決定しない場合でも、開所は待ったなしだが、町の決断は。

答弁（副町長） 平成29年4月開所を守るため、その時は決断する。

その他質問 ●公会計の整備促進について

岡田 良訓 議員
防災計画の見直し



質問（議員） 災害に備えて、警報が出た時点で避難所を開設すべきではないか。また、地震や津波時の避難場所として陸橋型工作物を建設してはどうか。

答弁（町長） 避難所開設は、避難の必要が生じたとき、また、自主避難の要請に基づき適切に対応できているので、警報とともに避難所を開設することは考えていない。

Q 警報が出た時点での避難所の開設を
A 考えていない

陸橋型工作物は、陸橋にとどまることによって危険な場合があることや費用面から建設することは考えていない。

Q 奨学金制度創設を

質問（議員） 子どもの貧困率が改善されない中、町独自の奨学金制度を創設してはどうか。

答弁（町長） 考えていない。

その他質問 ●年末年始の生活相談について



静岡県吉田町の陸橋型避難施設

多田 雄一 議員
環境問題



質問（議員） 東広島バイパスの騒音問題について、今年の秋に国土交通省が調査されることだったが、結果は出たのか。また、結果を公表すべきだと考えるがどうか。

答弁（町長） 調査は11月12日に実施されている。その結果については12月17日に工事の地元説明会を開催され、その中で報告される。

Q 東広島バイパスに防音壁を
A 騒音調査に基づき要望する

質問（議員） その結果を踏まえて防音壁の設置の要望はしてゆくのか。

答弁（町長） 調査結果や地元の状況などを踏まえ防音対策の要望をする。

その他質問 ●ゴミステーションについて



特に夜間の騒音が…



あいりちゃんのひまわりも咲きました

宮坂 二郎 議員
町花ひまわり



質問（議員） 平成26年11月27日に町花ひまわりの栽培、普及活動などに取り組んでこられた「ひまわりの会」が解散した。この会が海田町の活性化、アピールに大きく貢献されてきたこと、ボランティア活動の大切さや素晴らしさを教えてくれたのは間違いない。また、会のおかげがあつて「海田、といえはひまわりだね」と内外から言われるようになった。今後もそのような

Q 普及への今後の取り組みは
A 行政として新たに行う予定はない

に言われるために、町としてどのように取り組んでいくのか。

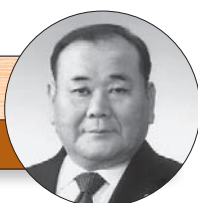
答弁（町長） 町花が「ひまわり」であることは、町民に広く定着しており、行政として新たな取り組みを行う予定はない。今後も町民の皆様の自主的な活動を期待している。



自治会単位での説明を

前田 勝男 議員

職員教育は？



Q 機会あるたびに徹底せよ

A 現地の確認や要望内容を確認する

【質問（議員）】 町民などから苦情や要望があつた場合は、課内はもちろん、場合によっては部内にも内容の周知を徹底するべきではないか。

【答弁（町長）】 部課長不在時でも代理の者で対応できるようにするとともに、電話などでの要望については、現地の確認や要望者への再確認を行うよう指導する。

Q 危険箇所の安全対策について

【質問（議員）】 水路と道路の間のガードレールの無い所にポールを設置したり、自治会単位で避難場所や地図の見た方を指導してはどうか。

【答弁（町長）】 危険箇所については現地の状況を見て検討する。また、自治会単位での避難訓練や地図の見方についての指導は、要請により職員派遣などを積極的に行う。

宗像 啓之 議員

生涯学習



Q 公民館の積極的な活用を

A 新たな講座などの開設を図る

【質問（議員）】 公民館は生涯学習の活動拠点の重要な位置を占めており、教育委員会として積極的に活用すべきであるが、活動はほとんどが自主運営講座になっている。生涯学習を推進するためには独自の事業や講座を展開していくべきではないか。また、自主講座においてトラブルが起こっていると聞く。実際の運営においては明確なルールを定めて運営しているのか。

【答弁（教育長）】 今後、時代のニーズに応じ、小学生を対象に郷土愛を育む講座や団塊世代を対象とした講座など新たな主催講座の開設を図ってきたい。自主講座の運営は、「公民館自主講座開設要綱」を定め、講師謝金の上限、定員等の基準を定め運営している。

その他の質問

●町道6号線改良工事について



もっと活用を！